

## 2025 マニフェスト

「希望のまちへ もっとシンカ！」

### 1 安全で強靱な都市へのシンカ

#### (1) 災害に強い安全で安心できる都市を実現

##### 1) 防災のシンカ

防災対策、流域治水対策の強化など災害に強いまちづくりの推進  
国と連携した荒川第2、第3調節池の整備  
防災のDX推進  
災害用備蓄物資の拡充と避難場所の充実  
命と暮らしを守る地域防災力の向上  
女性視点の取り入れと要配慮者優先避難所の運営体制・連携の強化  
水防センターの整備  
さいたまセントラルパークの防災拠点としての整備  
グリーンインフラによる防災機能の強化  
ASUKAモデル（傷病者発生時対応訓練）の推進とAEDの設置推進

##### 2) 防犯のシンカ

犯罪が起りにくい安心・安全なまちづくりの推進  
データ活用による防犯対策の強化  
戦略的わがまちカメラの拡充と自主防犯パトロールとの連携強化  
振り込め詐欺、闇バイト防止に向けた啓発  
セーフコミュニティ推進本部の設置  
子どもや市民を交通事故から守る対策の強化  
自転車用ヘルメット購入補助と高齢者等の交通安全教室の拡充

### 2 誇りあふれる都市へのシンカ

#### (1) 東日本共創（協奏）都市の創造

##### 1) 交通体系の構築と都市基盤整備のシンカ

地下鉄7号線延伸に向け、令和7年度中の事業者へ事業実施要請を実施  
本庁舎の跡地利用の方向性のとりまとめと浦和駅周辺地区のまちづくりの推進  
浦和駅西口南高砂地区市街地再開発と浦和駅周辺まちなかウォークブルの推進  
大宮GCS構想と（仮称）バスタ大宮整備の推進  
桜木駐車場の活用と都市計画道路の整備  
旧大宮区役所跡地と大宮小学校を活用したまちづくりの推進等  
中央区役所周辺の公共施設再編  
大和田駅の橋上化の実現  
新大宮上尾道路の整備  
都市計画道路を含む幹線道路の整備  
自然と共生した核都市広域幹線道路の整備とLRTなどの東西交通の整備  
まるまるひがしにほんや新幹線物流を活用した東日本連携の拡充

##### 2) 産業競争力のシンカ

産業集積拠点の拡充と産学官連携によるイノベーションの創出  
市内中小企業のDX推進と生産性向上による経営基盤強化支援  
スタートアップ企業支援による社会課題の解決と支援拠点機能の整備

若手起業家への市内空き店舗活用時の改装費など開業資金の支援  
市内ものづくり企業の人材育成支援  
インターンシップマッチングシステムの構築など人材確保支援  
リスクリングのための職業訓練・資格取得の支援  
デジタルスキルの習得などAI、DX関連の実践的研修・セミナーの実施  
キャリアカウンセリング、市内IT企業等とのジョブマッチング支援  
さいたまスイーツを核としたまちづくりの推進  
デジタル技術を活用した農業支援と新規就労者の拡大  
道の駅、農業交流施設の整備

## (2) 日本一の教育文化都市を実現

### 1) 文化のシンカ

アーツカウンシル、市民の文化活動の支援  
市民会館うらわの整備  
国際芸術祭の充実と文化芸術都市の創造、地域の活性化  
市有施設利用料減免、スポーツ施設夜間開放、補助制度等による若者の文化活動支援  
大宮盆栽の国内外への発信強化、新たな盆栽ビジネスの創出  
岩槻人形など本市の特色ある文化産業への支援

### 2) 教育のシンカ

英語教育の更なるシンカに向けたグローバル・スタディと海外研修の充実  
児童生徒用・教職員用端末の更新と拡充  
教育データ可視化システムの運用  
スポーツを科学する生徒の育成・自走支援  
コミュニティ・スクールの更なるシンカ  
武蔵浦和地区等への義務教育学校の整備  
学びの多様化学校の整備  
市南西部での市立特別支援学校の新設  
体験型プログラムなどデジタル&リアルのバランスのとれた教育プログラムの推進  
社会総かがりによるいじめ防止対策の推進と市役所全庁を挙げた取組の強化  
モデル公民館事業を始めとする公民館自主事業の拡充

## (3) 緑豊かな環境循環都市の構築

### 1) 脱炭素をシンカ

シェアリングエコノミーなどGX投資の推進  
市役所が率先した温室効果ガス削減の実践  
全市立学校での環境教育を通じた脱炭素化の推進  
2030年度までに約377.3万t-CO<sub>2</sub>の温室効果ガス削減（2013年度比51%削減）を実現  
ペロブスカイトなど新技術の実証実験を含む脱炭素化の取り組み強化  
市民と事業者との連携による省エネ・創エネ化の推進  
太陽光発電設備の共同購入方式の導入及び拡充（県・近隣市との連携）  
公共施設、民間施設のZEB化と戸建て住宅のZEH化の推進  
シェア型マルチモビリティの拡充  
地産地消のエネルギー活用とエネルギーマネジメントの推進  
ゴミ削減と循環社会を目指した再資源化の推進

## 2) 生物多様性をシンカ

国の環境共生サイトへの認定など豊かな自然環境を未来につなげるネイチャーポジティブの実現

生物多様性を図る見沼田んぼの保全活用

オーガニック農業を推進し、オーガニックビレッジ宣言を目指す

生物多様性保全のための基金の充実

緑地空間の拡充や街路樹などグリーンインフラの整備拡大

ペットの殺処分ゼロを継続し「人と動物の共生を目指した社会づくり」活動を目指す

## 3) 公園をシンカ

大規模公園等の新設（さいたまセントラルパーク、与野中央公園、見沼通船堀公園、（仮称）大宮警察署跡地公園等）

魅力ある公園づくりの実施（5つのPark- PFI、（仮称）埼玉県立総合教育センター跡地公園、与野公園、（仮称）岩槻南部新和西地区近隣公園、（仮称）さいたま市農業交流公園、さぎ山記念公園）

新しいルールづくり

インクルーシブの公園設置へモデル公園を新設

遊具のリノベーションと暑熱対策の推進

## (4) 国際スポーツ・健康先進都市を実現

### 1) スポーツのシンカ

スポーツシューレの整備

「アーバンスポーツ」ができる場所の拡大

次世代スポーツ施設の整備と（仮称）武蔵浦和地区新設スポーツ施設など屋内スポーツ施設の拡充

沼影プールの代替となる新しいレジャープールの整備

マラソン、自転車、ウォーキングイベントの拡充

プロスポーツチーム等を活用したスポーツの振興

若者主催イベントへの補助制度を通じた若者のスポーツ活動支援

## 3 「誰一人取り残さない」しあわせ実感都市へのシンカ

～全ての世代のしあわせ実感都市を創造～

### ○ 地域共生社会の実現

地域の多様な主体がそれぞれの役割や機能を活かし支え合う地域づくりの推進

孤独孤立対策の充実

福祉まるごと相談窓口を中心とした包括的な相談支援の実施

コミュニティソーシャルワーカーの配置拡大

ケアラー・ヤングケアラー支援とレスパイト体制の推進

### (1) もっと子ども・若者が希望を持てるまち

#### 1) 子どもの教育環境のシンカ

放課後児童クラブのシンカ（4年以内に待機児童ゼロ）

放課後こども居場所事業の拡大、民設放課後児童クラブの拡充

プレーパークなど子どもの遊び場、子どもの居場所の充実

中学校の部活動のさいたまモデル地域展開を実施

令和10年までに公立学校トイレの完全洋式化  
小中学校の体育館・特別教室への空調整備を強力に推進  
大和田小学校と複合施設の整備

## 2) 子ども・若者の機会確保支援のシンカ

国と連携して給食無償化を目指す

子ども食堂、フードバンク、フードパントリーの拡充

生活困窮世帯への学習支援の拡充、フリースクールなどで学ぶ子どもへの経済的支援と居場所の充実

大学・専門学校等進学など市独自の奨学金制度、児童養護施設退所者支援の充実  
学習の遅れのある生徒のフォローアップの推進

## 3) 子育て支援のシンカ

多胎児世帯への外出支援事業の実施

新生児マススクリーニング検査の拡大と1歳児健康診査および5歳児健康診査の実施

育児相談のオンライン化などの充実

子育てヘルパー派遣事業、ファミリーサポートセンター事業の利便性向上

保育士、放課後児童支援員、幼稚園教諭の処遇改善の拡充

第2子保育料の更なる負担軽減、無償化

こども誰でも通園制度の実施、朝預かりの試行的実施

病児保育施設の拡充、小中学校における医療的ケア児の受入れ・支援体制の推進

## 4) 子ども・若者の自立を尊重する社会へのシンカ

子どもに関わる問題解決のための包括的支援体制構築に向けた検討

子どもを権利の主体として捉えた「子どもの権利条例」の制定

若者会議の設置と政策提言機会の創出、地域活動参加ヘインセンティブ付与の検討

子どもの意見を反映するためのワークショップや子ども議会、アドボケイト制度の推進

包括的性教育の推進とユースクリニックの実施

若者向け金融リテラシー教育、多重債務防止のための相談体制強化

学校での障がい理解教育や福祉教育の推進

専門職による巡回、24時間対応の電話、オンラインなど多様な相談体制の推進

## (2) もっと女性が活躍し、子育てがしやすいまち

市内企業と連携した職業訓練の実施

女性活躍・両立支援の取組の促進等による人材確保

インターンシップの機会提供、女性起業家によるメンターシッププログラムの実施、デジタルスキル習得のための無料オンライン講座の提供

在宅ワーク可能な職種の紹介と研修プログラムの提供、子育て中の女性限定の就職フェアの定期開催、企業主導型保育所への支援の拡充

送迎保育ステーション、ファミリーサポートセンターの利便性向上

安心な生活環境の整備を目指し、女性専用の相談窓口の24時間体制化や予約システムのデジタル化を推進

産後ケア施設の充実と利用料の補助、オンラインによるメンタルヘルス相談の無料提供、母親同士の交流の場としてのコミュニティカフェの設置

ひとり親世帯への住宅支援資金貸付けなどの充実、女性起業家向けの低金利融資制度の設立

### (3) もっと障がい者が輝き、暮らしやすいまち

#### 1) 就労支援のシンカ

障がい者雇用企業への市発注優遇制度の推進  
テレワーク可能な職種の開拓と在宅就労支援の実施  
短時間勤務制度の導入企業への奨励金などの支援  
企業向け障がい理解セミナーの実施  
企業内ジョブコーチ制度の普及支援の実施

#### 2) 日常生活支援のシンカ

地域支援マネージャーの配置とコミュニティソーシャルワーカーの配置拡大、外出支援  
心身障がい者医療費支給制度の拡大  
発達障がい者に対する地域支援体制の強化  
さいたま市口腔保健センターの整備  
空き店舗を活用した福祉作業所の設置、公共施設の空きスペースの活用、コミュニティカフェの開設支援、多目的交流スペースの整備  
スマートフォンアプリによる情報提供、デジタル技術を活用した見守りサービス、オンライン相談システムなど遠隔コミュニケーション支援

#### 3) 情報アクセシビリティのシンカ

市の情報発信の音声、点字対応強化、わかりやすい広報物の作成  
手話通訳者派遣システムの効率化  
遠隔手話通訳サービスの導入

### (4) もっと高齢者が生きがいと安心できるまち

#### 1) 高齢者支援のシンカ

带状疱疹ワクチン接種への補助  
データを活用した更なる介護予防の推進  
認知症支援の強化（認知症フレンドリーまちづくりセンター、チームオレンジ、認知症サポーター・おれんじパートナー拡充、MCIスクリーニング検査の拡大など）  
老人クラブ育成支援の拡大  
さいたま市口腔保健センターの整備など歯科口腔保健の推進

#### 2) 地域連携による見守り体制のシンカ

町内会との連携強化  
見守りネットワークの構築  
緊急時対応システムの整備  
民生委員との協力体制強化

#### 3) 商業施設との連携強化によるシンカ

店舗による送迎サービスの拡充支援  
買い物ポイントと移動支援の連携  
商業施設内の休憩スペース整備  
高齢者向け商品配達サービスの促進

#### 4) 介護の担い手支援をシンカ

ケアマネジャー、介護福祉士等の資格取得、更新等の支援

介護事業所の労働環境改善  
さいたま市版「(仮称)介護事業所 働きやすい職場認証」の実施  
離職防止や困難事案に対処する事業所の弁護士活用などの支援

#### 4 絆で支えあう都市へのシンカ

##### (1) DXによる人に優しいスマート都市の推進

さいたま市みんなのアプリの利便性の向上、令和7年度までに全ての手続きのデジタル化を目指す

10区全ての区に書かない窓口導入を始めとしたフロントヤード改革の推進

区役所の総合窓口化の推進

支所等におけるDXの推進

事務負担軽減を図るため自治会の電子回覧板推進とICT化の支援拡充

インターネット誹謗中傷等による相談窓口の設置、対策の強化

デジタル技術を活用した学校施設の適切な維持管理の推進

##### (2) 絆(みんな)でつくる共創都市を実現

###### 1) 暮らしやすい街へシンカ

スマイルロード整備・暮らしの道路整備

危険箇所の路面標示や街灯のLED化による視認性向上

民間企業の協賛等を活用したベンチや休憩スポットの増設

移動支援サービスの一覧マップ作成、高齢者を始めとした利用実態調査に基づくコミュニティバス等のルート見直し

病院や商業施設の送迎バスとの連携・統合、地域商店による送迎協力制度の確立

時刻表のデジタル化とリアルタイム運行情報の提供など民間バス会社との連携、AIデマンド交通の拡充

バス停までの距離が遠い地域へのグリーンスローモビリティ等の導入

乗合タクシーシステムの拡充、買い物や通院の同行者募集掲示板の設置など相乗り促進システムの構築

電動アシスト自転車やシニアカーのシェアリングシステムなど民間企業と連携したマルチモビリティの推進

自動運転バスの導入検討・推進

###### 2) 既存資源の有効活用によるシンカ

福祉車両の稼働率向上策の実施、共同利用システムの構築

企業の社用車や地域の遊休車両の活用制度の構築

空き店舗を活用したコミュニティ送迎待合所の設置、地域住民や町内会単位での運営体制構築の検討

コミュニティ送迎予約の一元管理システムの導入

###### 3) 生活環境のバリアフリーによるシンカ

点字ブロックの計画的な整備

既存の歩道の段差解消の優先順位付けと実施

路線バスやコミュニティバスのバリアフリー化促進

音声案内設備の設置

多目的トイレの増設

#### 4) 住民主体の支え合い活動のシンカ

自治会加入の促進

活動に必要な備品の提供

民間シェアカーの活用支援

ボランティア講習会の実施、送迎ボランティアの組織化

#### 5) アプリで生活をシンカ

さいたま市みんなのアプリの拡充とまちづくりの推進

地域ボランティアネットワーク、移動支援ボランティアの充実

さいコインを活用した有償ボランティア制度の推進、ボランティア保険の支援

デジタル郵便サービスの導入など行政サービスのDX化

デジタル地域通貨、デジタルスタンプラリー機能、購買等のデータを活用した商店街活性化、まちの賑わい創出

社会貢献、地域活動、弱者支援活動に対する地域ポイントの発行拡充

たまポンのふるさと納税返礼品化

#### 6) 情報提供をシンカ

さいたま市みんなのアプリ、SNSによる情報提供

地域包括支援センターでの相談連携体制の充実

定期的な利用方法説明会の開催

市民参画のための意見聴取手法の充実と職員のスキルアップ

#### 7) 市役所業務のシンカ

さいたまシティスタッドの構築とAI・ビッグデータの戦略的活用による市役所業務の質の向上

行財政シンカ推進会議を通じた不断の行財政改革の推進と組織の再構築

事務事業等の見直しによる財源確保

物価高・人手不足等を踏まえた計画・事業の優先順位の見直し

ネーミングライツの継続導入など多様な歳入確保の推進

地元企業の受注機会の確保と公共工事の施行時期の平準化

電子契約の導入など建設DXの推進

業務委託契約におけるスライド条項の導入と公契約条例の制定検討

公文書管理の徹底

カスタマーハラスメント防止条例の制定